

地域貢献に関する情報開示

平成 19 年 5 月

株式会社 青森銀行

目 次

	(頁)
地域貢献について	・・・・・・・・ 1
. 地域貢献に関する考え方	
. 地域貢献に関する取組み状況	・・・・・・・・ 2
1 . 地域への信用供与の状況	
(1) 貸出業務全般の状況	
総貸出金残高	
県内向け貸出金残高、シェア	
県内金融機関別貸出金残高、シェア	
業種別貸出金残高、貸出先数および各シェア	・・・・・・・・ 3
県内向け業種別貸出金残高、貸出先数および各シェア	
(2) 中小企業向け貸出業務の状況	・・・・・・・・ 4
中小企業向け貸出金残高、シェア	
県内中小企業向け貸出先数	
中小企業向け融資商品の提供内容と個人保証に過度に 依存しない融資残高の公表について	・・・・・・・・ 5
青森県信用保証協会保証付貸出金残高、シェア	・・・・・・・・ 6
地方公共団体の制度融資への取組状況	・・・・・・・・ 7
(3) 個人向け貸出業務の状況	・・・・・・・・ 8
個人ローン残高、件数	
総貸出金残高に占める個人ローン残高、シェア	
うち住宅関連融資残高、件数	・・・・・・・・ 9
うち消費者ローン残高、件数	
県内の個人ローン残高、件数	・・・・・・・・ 10
県内向け貸出金残高に占める県内の個人ローン残高、シェア	
うち住宅関連融資残高、件数	・・・・・・・・ 11
うち消費者ローン残高、件数	
個人向けローン商品の提供内容	
2 . 地域のお客さまへの利便性提供の状況	
(1) 顧客接点の状況	
店舗の状況	・・・・・・・・ 12
A T Mの状況	・・・・・・・・ 13
ダイレクトチャネルの展開	・・・・・・・・ 14

(2) 預金業務等の状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 5
総預金残高	
個人預金残高、シェア	
県内の預金残高シェア	
県内の個人預金残高、シェア	
預り資産残高、件数	・ ・ ・ ・ ・ 1 6
うち公共債	
うち投資信託	
うち個人年金・年金払積立傷害保険	
県内の預り資産残高、件数	・ ・ ・ ・ ・ 1 7
うち公共債	
うち投資信託	
うち個人年金・年金払積立傷害保険	
地域顧客への利便性提供に資する取組みの状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 8
(3) その他	
偽造キャッシュカード問題への対応	・ ・ ・ ・ ・ 1 9
子会社等を通じた利便性提供の状況	・ ・ ・ ・ ・ 2 0
3 . 地域経済活性化への取組み状況	・ ・ ・ ・ ・ 2 1
(1) 地元企業に対する経営サポートの状況	
地元企業の経営相談等への取組み状況	
地元企業の再生への取組み状況	・ ・ ・ ・ ・ 2 2
(2) 企業の育成への取組み	・ ・ ・ ・ ・ 2 3
企業育成への取組み状況	
(3) 地方公共団体の事業との関係	・ ・ ・ ・ ・ 2 4
地方公共団体事業との関係	
4 . その他 地域への支援活動の状況	・ ・ ・ ・ ・ 2 5
(1) 地域への各種支援活動の状況	
ボランティア活動等の状況	

地域貢献について

当行は、金融庁が平成17年3月に公表した「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」の中で示された「地域貢献に関する情報開示」に積極的に取り組んでおります。

本資料は、地域貢献に関する当行の基本的な考え方を示し「地域への信用供与の状況」「地域のお客さまへの利便性提供の状況」「地域経済活性化への取り組み状況」「その他 地域への支援活動」などの取り組み状況について、具体的に開示したものです。

今後とも、地域の皆さまのために、より充実した情報開示に努めてまいります。

・地域貢献に関する考え方

当行は、青森県を主要な営業基盤とする地域金融機関として、「地域のためにお客さまとともに 人を大切に」を企業理念の下、地域社会の繁栄と地域経済の発展に寄与することが重要なテーマであると認識しております。

具体的には、経営の健全性を確保しつつ、本業である銀行業務を通じて、地域の皆さまへ円滑な資金供給と良質な金融サービスを提供していくほか、中小企業の経営支援など、地域経済活性化に向け取り組んでいくことが地域貢献のあり方だと考えています。

また、地域社会に根ざした良き企業市民として社会的責任を果たすことも重要であると考え、学術・文化・スポーツ振興支援や社会福祉、環境保護活動などさまざまな分野で地域社会に貢献してまいります。

「地域」とは・・・当行が主要な営業基盤としている「青森県」を指しています。

なお、預貸金等の「県内」の記載数値は青森県内に店舗を構える営業店の合計値です。

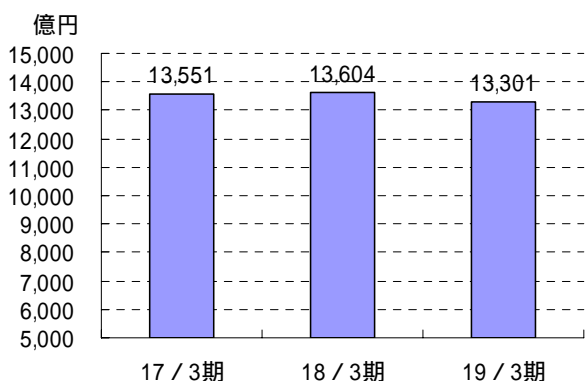
地域貢献に関する取組み状況

記載金額は表示している単位未満を切り捨てています。また、構成比率、増減率その他の比率は、表示している数値未満を切り捨てています。

1. 地域への信用供与の状況

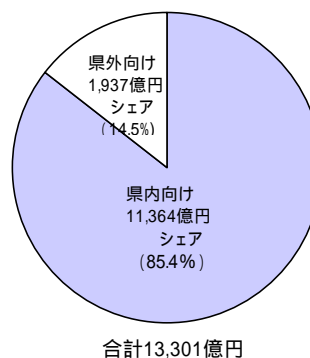
(1) 貸出業務全般の状況

総貸出金残高



平成19年3月期の総貸出金は一般、公共が減少し、1兆3,301億円（前年同期比2.2%減）となりました。

県内向け貸出金残高シェア(19/3期)



地元青森県内への貸出金は1兆1,364億円であり、貸出金全体の85.4%を占めています。

業種別貸出金残高、貸出先数及び各シェア

業種別貸出金残高	19/3月期		19/3月期	
	残高(百万円)	先数(件数)	残高(百万円)	先数(件数)
製造業	104,592	1,075	7.9%	1.0%
農業	3,930	910	0.3%	0.8%
林業	375	36	0.0%	0.0%
漁業	6,262	162	0.5%	0.1%
鉱業	1,704	7	0.1%	0.0%
建設業	69,051	2,669	5.2%	2.4%
電気・ガス・熱供給業	18,010	31	1.4%	0.0%
運輸・通信業	47,344	462	3.6%	0.4%
卸売業	89,110	886	6.7%	0.8%
小売業	70,244	2,167	5.3%	1.9%
金融・保険業	54,842	249	4.1%	0.2%
不動産業	72,319	971	5.4%	0.9%
飲食業	9,469	961	0.7%	0.9%
サービス業	174,145	3,549	13.1%	3.2%
地方公共団体	286,771	63	21.6%	0.1%
個人	303,781	97,926	22.8%	87.3%
中央政府	18,250	1	1.4%	0.0%
合計	1,330,199	112,125	100.0%	100.0%

貸出金全体でみる業種別残高シェアは、個人 22.8%、地公体 21.6% の合計が全体の 4 割強を占め、次いで サービス業 13.1%、製造業 7.9%、卸売業 6.7%と続きます。貸出先数シェアでは、個人が 87.3%と全体の約 9 割を占めています。

県内向け業種別貸出金残高、貸出先数及び各シェア

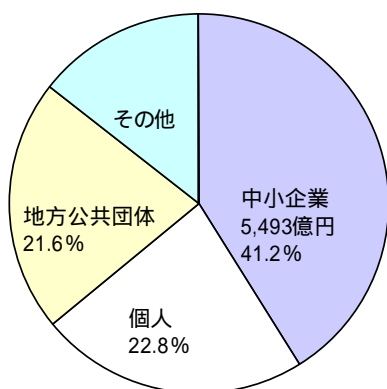
業種別貸出金残高	19/3月期		19/3月期	
	残高(百万円)	先数(件数)	残高(百万円)	先数(件数)
製造業	68,956	955	6.1%	0.9%
農業	3,910	906	0.3%	0.8%
林業	374	35	0.0%	0.0%
漁業	6,244	158	0.5%	0.1%
鉱業	1,704	7	0.1%	0.0%
建設業	62,291	2,539	5.5%	2.4%
電気・ガス・熱供給業	17,010	30	1.5%	0.0%
運輸・通信業	39,689	438	3.5%	0.4%
卸売業	66,415	798	5.8%	0.7%
小売業	64,988	2,058	5.7%	1.9%
金融・保険業	14,692	202	1.3%	0.2%
不動産業	60,848	859	5.4%	0.8%
飲食業	8,996	899	0.8%	0.8%
サービス業	147,269	3,251	13.0%	3.0%
地方公共団体	285,246	57	25.1%	0.1%
個人	287,775	94,207	25.3%	87.7%
合計	1,136,407	107,399	100.0%	100.0%

県内向け貸出金残高に占める業種別残高シェアは、個人 25.3%、地公体 25.1%、サービス業 13.0%など貸出金全体でみた場合と大きな変化はありません。貸出先数シェアでも同様です。

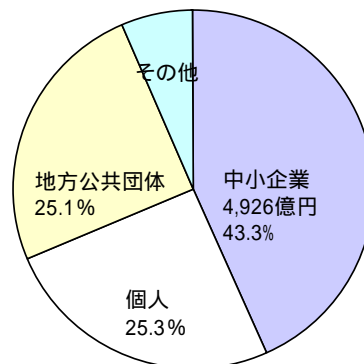
(2) 中小企業向け貸出業務の状況
 中小企業向け貸出金残高、シェア

当行の貸出金全体に占める中小企業向け貸出金のシェアは41.2%であり、
 県内向けでは43.3%のシェアとなっています。

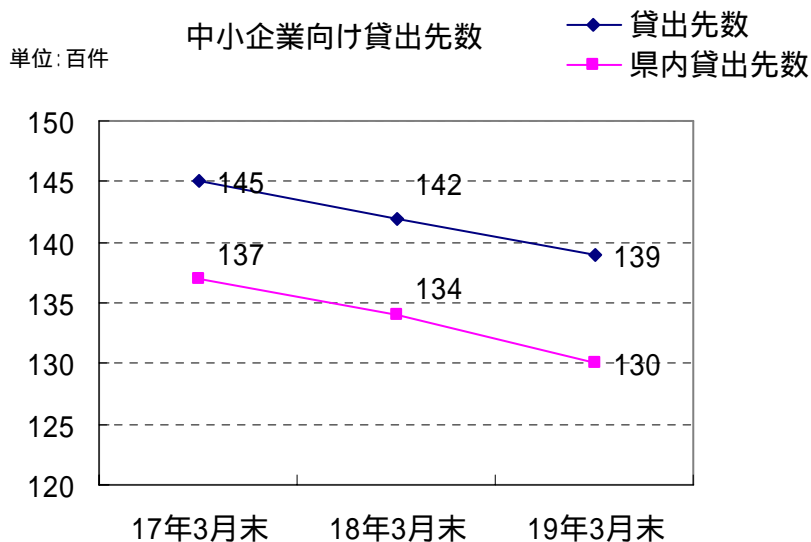
中小企業向け貸出金残高・シェア(19/3期)



県内中小企業向け貸出金残高・シェア(19/3期)



中小企業向け貸出先数



中小企業とは・・・資本金3億円(卸売業は1億円、小売業、飲食店、各種サービス(除く飲食店)は500万円)以下、または常用従業員300人【卸売業、各種サービス(除く飲食店)は100人、小売業、飲食店は50人】以下の企業規模の法人および個人事業主のことです。

中小企業向け融資商品の提供内容と個人保証に過度に依存しない融資残高の公表について

お客さまの資金調達ニーズの多様化に合わせてとともに、個人保証に過度に依存しない各種商品をご用意しています。

これからも、お客さまの声にお応えするために、商品ラインナップの充実に務めてまいります。

・中小企業向け融資商品一覧

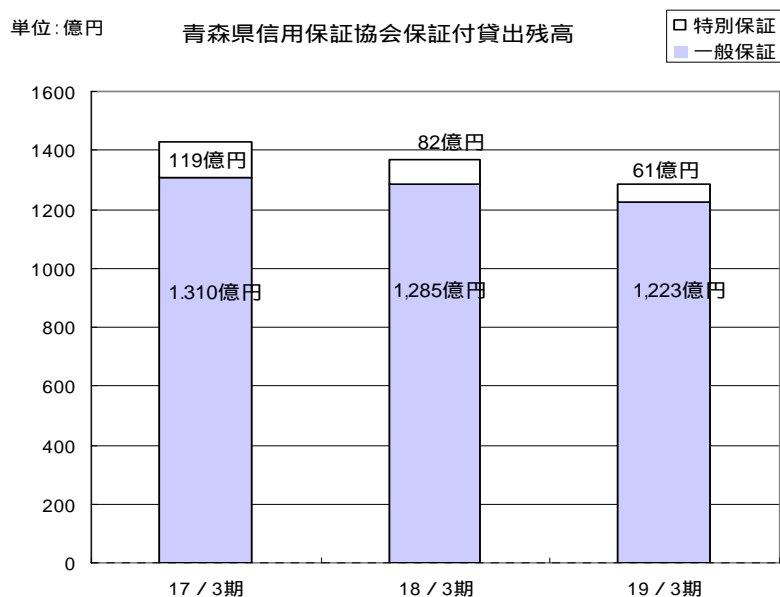
種類	内容	ご融資金額	ご融資期間
あおぎん バックアップローン (スコアリングモデル)	信用保証協会の保証を受けられた個人事業主および法人にご利用いただけます。最高3,000万円まで無担保・第三者保証人不要の条件で、お申し込みから原則3営業日以内にご回答します。	最高3,000万円	運転資金・・・5年以内 設備資金・・・7年以内
あおぎん スピードローン (スコアリングモデル)	業歴2年以上の法人および個人事業主の方でオリックス(株)の保証を受けられるお客様がご利用できます。無担保・第三者保証人不要の条件で、最短2営業日以内にご回答します。	100万円以上3,000万円以内(10万円単位)	5年以内
青銀ビジネスローン デュオ	業歴2年以上の法人および個人事業主の方にご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要の条件で、中小企業を支援いたします。	100万円以上1億円以内(10万円単位)	7年以内
あおぎん TKC 戦略経営者ローン (スコアリングモデル)	設立3年以上でかつ TKC 会員と顧問契約締結1年以上の法人にご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要の条件で、中小企業を支援いたします。	100万円以上2,000万円以内(10万円単位)	運転資金・・・5年以内
私募債 (信用保証協会付)	資金調達手段の多様化にお応えするため、信用保証協会保証付私募債の受託業務に積極的に取り組んでおります。	無担保(2億円まで)	7年以内
あおぎん デュアルサポートローン (コベナンツ)	青森県内に本店所在地がある業歴2年以上かつ年少30億円未満で、三菱東京UFJ銀行の審査承認が得られる法人にご利用いただけます。最高1億円まで原則無担保・第三者保証人不要でお借り入れできます。	2,000万円以上1億円以内	5年以内
あおぎん車両担保ローン 「ビジネスウェイ」 (動産担保)	業歴3年以上でかつオリックス自動車(株)の保証が受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。購入車両または既存所有車両を担保に、最高1億円まで第三者保証人不要の条件でお借り入れできます。	100万円以上1億円以内	7年以内
あおぎん スピードチャージ (スコアリングモデル)	業歴2年以上で青森県信用保証協会の保証を受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。最高3,000万円まで原則無担保・第三者保証人不要の条件でお借り入れでき、最短即日ご回答いたします。	3,000万円以内	運転資金・・・10年以内 設備資金・・・15年以内

・個人保証に過度に依存しない融資(平成18年度下期期末残高)

区分	件数	残高
コベナンツ(財務制限条項)を活用した融資	2件	60百万円
スコアリングモデル(財務評点)を活用した融資	1,474件	9,279百万円
動産・債権譲渡担保融資	0件	0円
知的財産担保融資	0件	0円

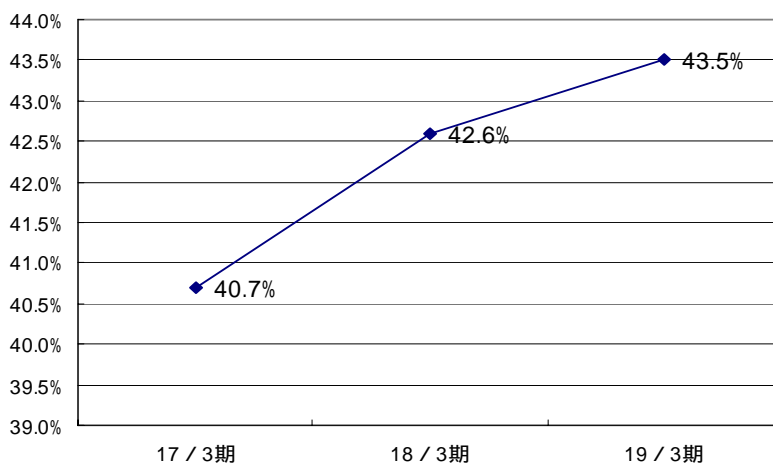
青森県信用保証協会保証付貸出金残高、シェア

当行は中小企業の円滑な資金調達に資するため、積極的に信用保証協会の保証付貸付を推進しております。19年3月末の同協会保証付貸付残高は1,285億円（一般保証1,223億円,特別保証61億円）であり、同協会保証付貸出金残高全体に占める当行シェアは43.5%とトップシェアとなっています。



特別保証とは・・・中小企業の安定した資金調達のために政府が創設した「中小企業金融安定化特別保証融資制度」のことで、平成10年10月から平成13年3月まで実施されました。特別措置として、一般保証とは別枠で行なわれた制度のため、通常の一般保証とは区別して管理されています。現在は制度の取扱いが終了しているため新規の取扱いがなく返済により残高は減少しています。

青森県信用保証協会保証付貸出金全体に占める当行シェア



地方公共団体の制度融資への取組み状況

当行は、県や市町村の制度融資を取扱いし、地元の中小企業の皆さまに対し円滑な資金供給に努めています。

(主な地方公共団体制度融資)

青森県中小企業長期経営安定資金

青森県内の中小企業者を対象にし、企業経営の安定に必要な長期資金の融資を行うことにより、経営基盤の安定強化を図ることを目的としています。

平成19年3月末 取扱残高 562件 60億円

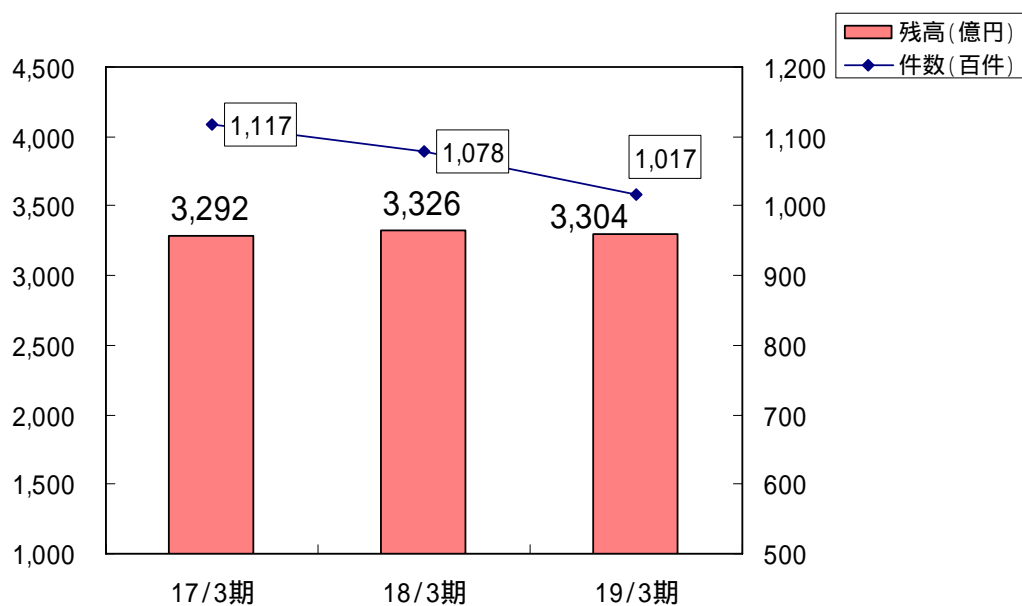
青森県中小企業セーフティネット資金

企業倒産等により影響を受ける県内中小企業者の連鎖倒産を防止するとともに、長期的な景気低迷により資金繰りが悪化している県内中小企業者の経営の安定を図ることを目的としています。

平成19年3月末 取扱残高 1,320件 106億円

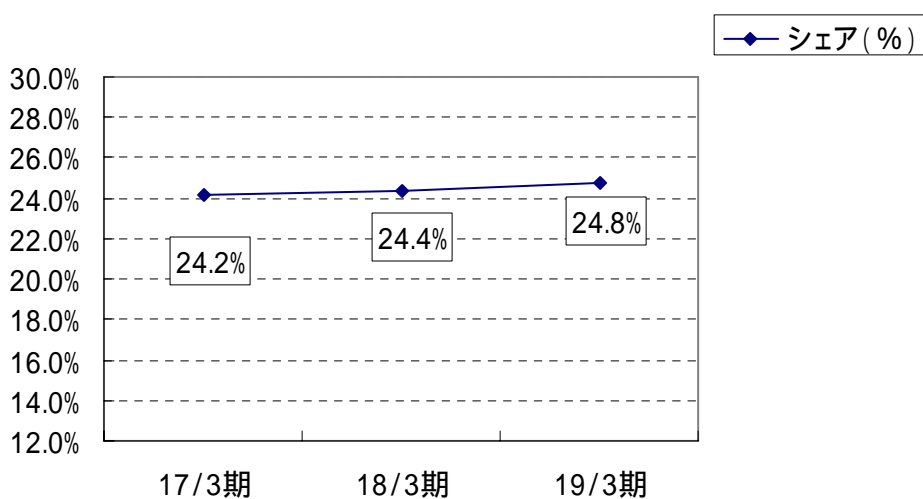
上記のほか、青森県地場産業振興資金、青森県創業支援資金、市町村特別保証制度としての小口資金・事業活性化資金などを取扱っています。

(3) 個人向け貸出業務の状況
個人ローン残高、件数



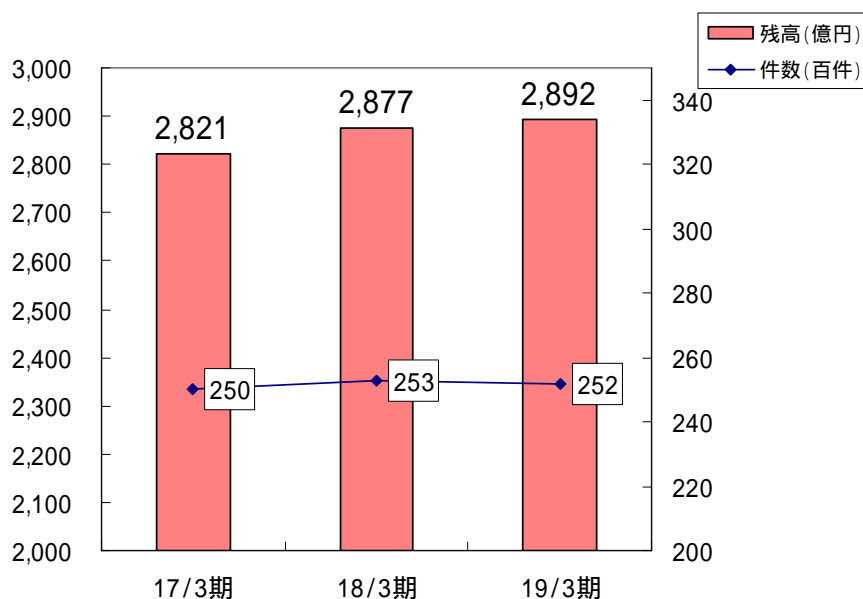
平成19年3月期の個人ローン残高は、消費性資金の需要低下により、前年同期比0.6%減少し3,304億円、件数は同5.6%減少し、1,017百件となりました。個人事業主向けの個人ローンを含みます。

貸出金残高に占める個人ローン残高、シェア



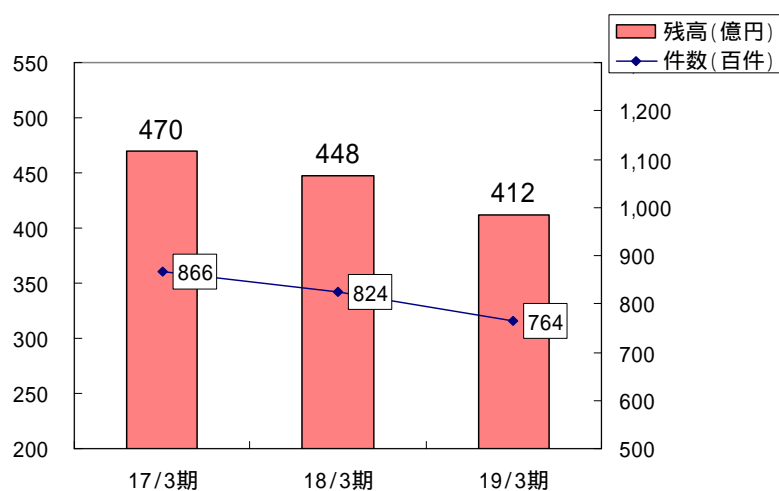
平成19年3月期の貸出金全体に占める個人ローン残高シェアは、前年同期比0.3%増加し、24.8%となりました。

うち住宅関連融資残高、件数



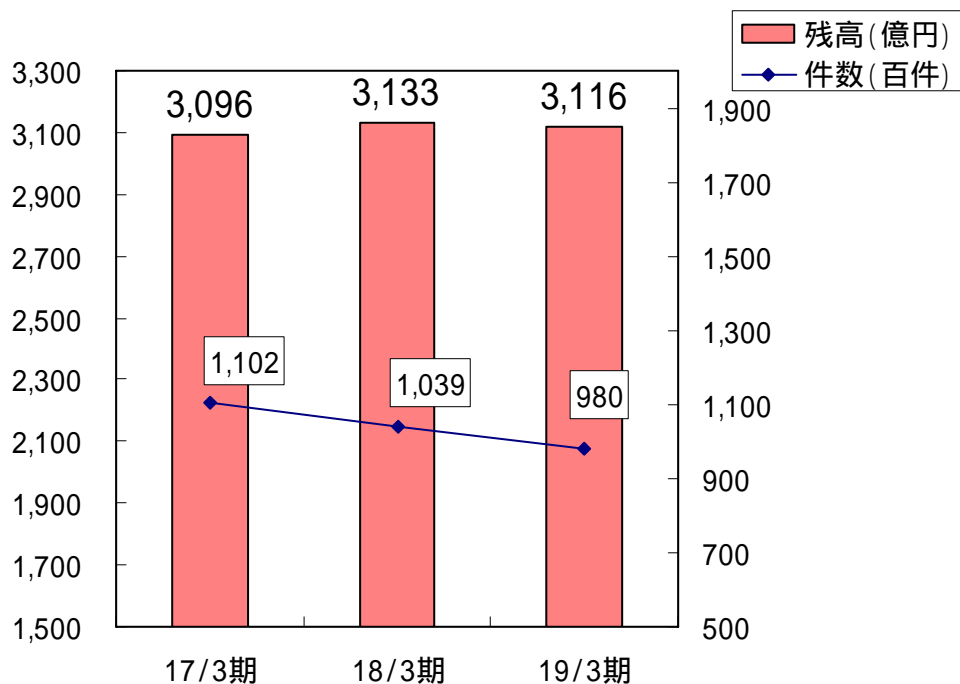
迅速回答が可能な商品の獲得推進や柔軟な審査体系の構築により、平成19年3月期の住宅関連融資残高は前年同期比0.5%増加し2,892億円、一方、件数は年度末にかけて新規需要が低調であったこともあり、同0.4%減少し252百件となりました。

うち消費者ローン残高、件数(カードローンを含む)



マイカーローン、カードローンの取扱いが減少したことから、平成19年3月末の消費者ローン残高は前年同期比8.0%減少し412億円、件数は同7.2%減少し764百件となりました。

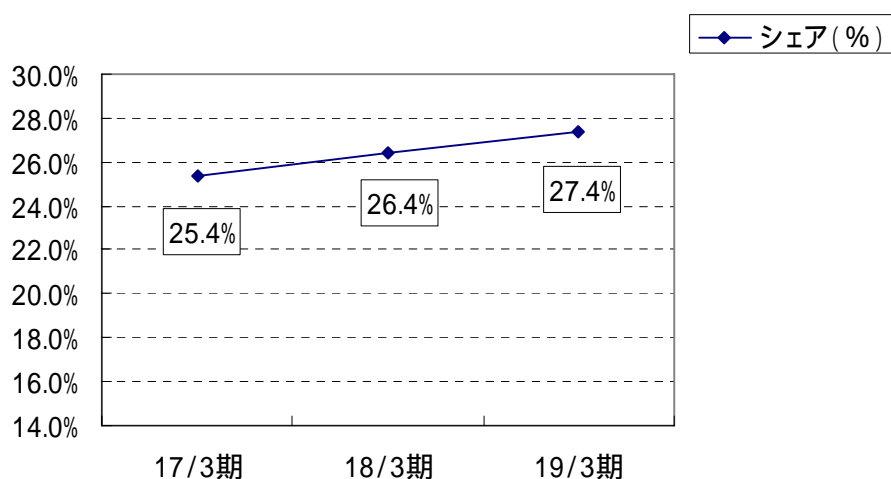
県内の個人ローン残高、件数



平成19年3月期の県内向け個人ローン残高は、前年同期比0.5%減少し3,116億円、件数は同5.6%減少し、980百件となりました。

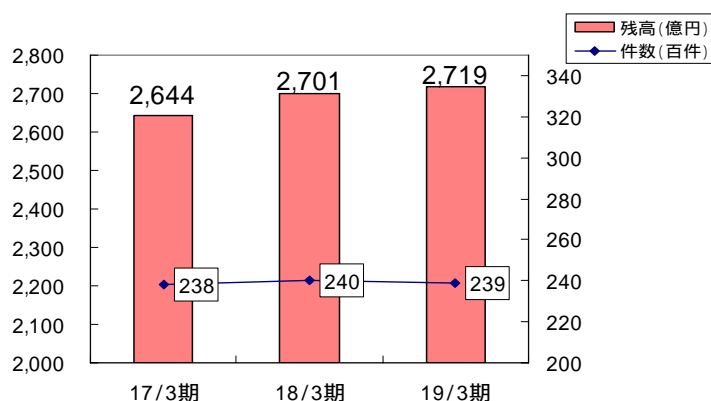
また、平成19年3月期の県内向け個人ローン残高は、個人ローン全体の94.2%を占めております。

県内向け貸出金残高に占める県内の個人ローン残高、シェア



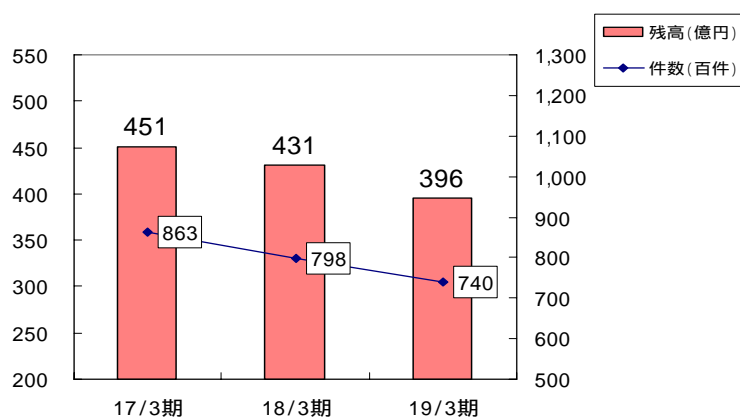
平成19年3月期の県内向け貸出金全体に占める県内の個人ローン残高シェアは、前年同期比1.0%増加し、27.4%となりました。

うち住宅関連融資残高、件数



平成19年3月期の残高は前年同期比0.6%増加し2,719億円、件数は同0.3%減少し239百件となりました。

うち消費者ローン残高、件数(カードローンを含む)



平成19年3月期の残高は前年同期比8.1%減少し396億円、件数は同7.2%減少し740百件となりました。

個人向けローン商品の提供内容

マイカー購入や旅行・買い物など目的に合わせた資金計画のお手伝いをするため、マイカーローンやカードローン等のローン商品をご用意しています。また、「夢のマイホーム」の実現やご自宅のリフォームのお手伝いをするため、各種住宅ローン商品をご用意しています。

代表的な消費者ローン・カードローン…マイカーローン、教育ローン、フリーローン<ゆとり王>、

ツインカード

住宅ローン…スーパー住宅ローン、住実パワー、リフォーム大臣

担保無用の助

2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況

(1) 顧客接点の状況

店舗等チャンネルの状況

当行は、これまで地域のお客さまの利便性を第一に考えた店舗展開を推進し、現在青森県内では最大の店舗ネットワーク網を有しています。

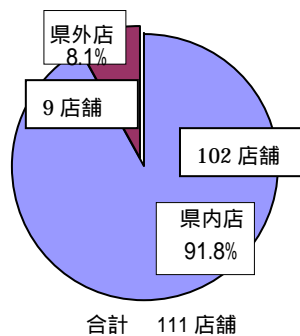
また、ATM（現金自動預払機）の設置についても、店舗ネットワーク網を補完するという観点から、積極的に展開するとともに、平成14年1月よりATMの365日稼働も実施しています。

さらに、全国に先駆けた他業態金融機関とのATM相互利用無料提携「あすなるネット」のほか、隣接県のトップバンクである秋田銀行・岩手銀行とのATM相互利用無料提携「AAIネット」も実施しています。

加えて、コンビニATM「イーネット」との提携や、全国郵貯との提携のほか、平成19年3月19日からセブン銀行ATMとの提携を開始し、県外での利便性拡充を図りました。また、各クレジット会社等へのATM開放等、ネットワーク網の拡大と利便性の向上に積極的に努めています。

店舗の状況

店舗数、シェア（19年3月31日現在）



県内店	102 カ店	支店 出張所	96 6
県外店	9 カ店		

当行全店舗111カ店のうち県内店は102カ店であり、全体の91.8%を占めています。

店舗設置市町村数（19年3月31日現在）

市 ... 県内10市に設置。全81カ店設置。

町 ... 県内22町のうち19町に20カ店設置。

村 ... 県内8村のうち1村に1カ店設置。

県外... 全9カ店。

東京都 / 中央区 1カ店

秋田県 / 大館市 1カ店、能代市 1カ店

宮城県 / 仙台市 1カ店

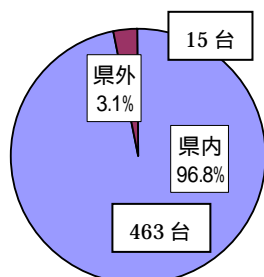
北海道 / 函館市 3カ店、札幌市 1カ店

岩手県 / 盛岡市 1カ店

ATMの状況

ATM設置数(19年3月31日現在設置箇所および台数)

	県内 ATM 設置数		県外 ATM 設置数		総 ATM 設置数	
	設置箇所	設置台数	設置箇所	設置台数	設置箇所	設置台数
店舗内	99	218	9	13	108	231
店舗外	200	215	0	0	200	215
小計	299	433	9	13	308	446
他金融機関幹事共同 ATM	30	30	1	2	31	32
合計	329	463	10	15	339	478



合計 478台

平成19年3月31日現在のATM設置数478台(他金融機関幹事共同ATMを含みます)のうち、県内に設置しているATM数は463台(同)であり、全体の96.8%を占めています。

コンビニATM「E net(イーネット)」(19年3月末現在)

県内のサークルK、サンクス、ミニストップ、ファミリーマート合計41カ所の店舗に設置しています。営業時間は平日7時から23時、土日祝日7時から21時までとなっています。県外のイーネットATMでも当行ATMと同様の手数料にてご利用いただけます。

(全国7,163台 19年3月31日現在)

セブン銀行ATM(19年3月末現在)

平成19年3月19日、セブン銀行との提携を開始し、全国のセブン銀行ATMのご利用が可能になりました。営業時間は平日7時から23時、土日祝日7時から21時となっています。お引出・お預入の際は、平日8時～18時が105円、それ以外の時間帯は210円のご利用手数料を申し受けますが、残高照会は無料にてご利用いただけます。(全国12,090台 19年4月4日現在)

休日の対応状況

ATM(店舗内、店舗外、コンビニ)は休日に関わらず1年365日営業しています。ATM利用時の障害問い合わせ、照会等については、コールセンター(ATM集中監視業務)にて対応しています。

ATM提携の状況(18/3末現在)

提携名称	県内設置状況	内 容
あすなるネット	H7.5.1～ 344カ所	県内全信用金庫、青森県信用組合、東北労働金庫、JAバンク青森の4業態8金融機関とのATM相互利用手数料無料提携(支払・残高照会)
アイ AAIネット	H12.4.3～ 11カ所	秋田銀行、岩手銀行とのATM相互利用手数料無料提携 秋田銀行3カ所、岩手銀行8カ所(支払・振込・残高照会)
郵貯提携(県内)	313台(18/3末現在)	全国26,297台(入金・支払・残高照会・相互送金)
クレジットカード会社等との ATM提携	23先	銀行系6、信販系8、流通系5、消費者金融系4

バリアフリーへの取組み

店舗入口スロープ設置店舗(段差解消)	71カ店	車いす利用可能トイレ設置店舗	11カ店
車いす利用可能ATM設置店舗	1カ店	車いす利用可能店舗外ATM	11カ所

ダイレクトチャネルの展開

個人のお客さま向け

「忙しくて銀行に行けない」というお客さまのために「<あおぎん>つないでネ！ット」をご用意しております。この「<あおぎん>つないでネ！ット」では、お客さまのご都合に合わせ、テレホンバンキング・インターネットバンキング・モバイルバンキングで、「口座残高や入出金明細の照会」ならびに「お振込」「お振替」等の様々なサービスがご利用いただけます。

また、対象サービスをご利用いただくことで翌月の月額基本手数料が無料となる「手数料優遇」(優遇対象サービスは一覧表の【得】表示のあるものとなります。実施期間は平成20年3月まで延長しました。)の実施や振込手数料が窓口でのお取扱よりも安価であることなど大変お得です。

インターネットバンキングでのネット上の情報漏洩・データの改ざんを防ぐため「SSL128ビット方式による暗号化」を施すなど、安心してご利用いただけます。

インターネットバンキング																			
モバイルバンキング																			
テレホンバンキング																			
ご利用いただけるサービス	【得】口座照会	【得】振込	【得】振替	【得】振込・振替予約	【得】定期預金(お預入・お引出)	【得】定期預金(お預入)	【得】外国送金	【得】外貨預金	【得】現金宅配・現金送金	【得】税金・各種料金払込み(ペイジー)	【得】公共料金自動振替の受付	住所変更の受付	各種商品・サービスのご相談						

法人・個人事業主のお客さま向け

「銀行に行く時間を他の仕事にまわしたい」「もっと効率的に仕事をしたい」というお客さまのために、各種EBサービスをご用意しております。

サービスについての充実も積極的に進めており、最近では次のサービスの取扱いを開始しました。

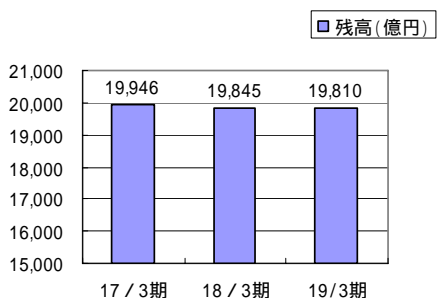
- 平成16年1月「法人向けインターネットバンキング<あおぎん>AB-webにおいて、「データ伝送での総合振込・給与振込」の取扱いを開始しました。
- 平成16年1月「法人向けインターネットバンキング<あおぎん>AB-webにおいて、「税金・各種料金払込み(ペイジー)」の取扱いを開始しました。

また、各サービスでは暗証番号での本人確認実施などにより、セキュリティ対策を講じてまいりましたが、平成19年1月15日より<あおぎんAB-web>「電子証明書認証方式」を導入しお客様の情報保護の強化に努めております。

ANSERサービス & データ伝送サービス	お手持ちのパソコンから、お振込や総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
AB-web (法人向けインターネットバンキング)	インターネットを経由して、お振込や総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
FAX取引受付サービス	お手持ちのFAXから、総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
あおもり ワイドネットサービス	売掛金等の代金回収業務を、貴社に代わって「あおぎんコンピュータサービス(株)」(当行関連会社)が行います。
コンビニ収納サービス	各種売上代金等を、全国の提携コンビニを通じて回収できます。

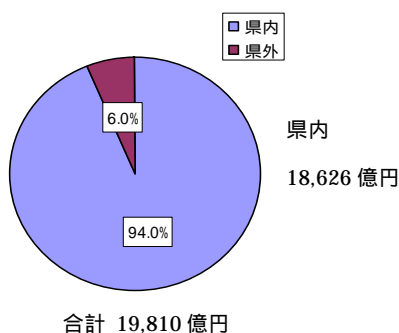
(2) 預金業務等の状況

総預金残高



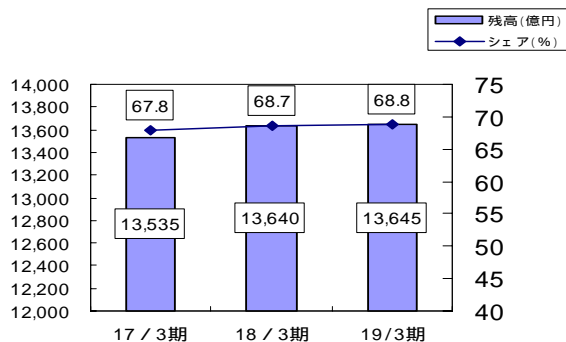
平成19年3月期の総預金（譲渡性預金を含む）は、公共預金の減少により、前年同期比0.1%減少し1兆9,810億円となりました。

県内の預金残高シェア(19/3期)



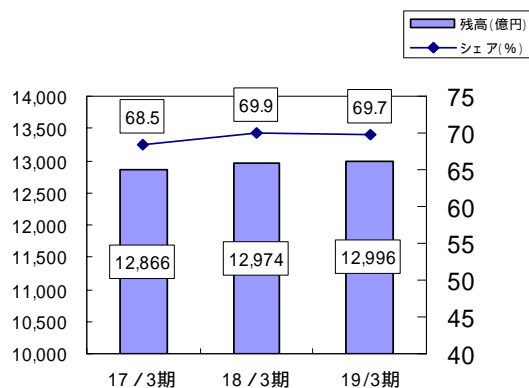
地元青森県内の預金は1兆8,626億円であり、預金全体の94.0%を占めています。

個人預金残高、シェア



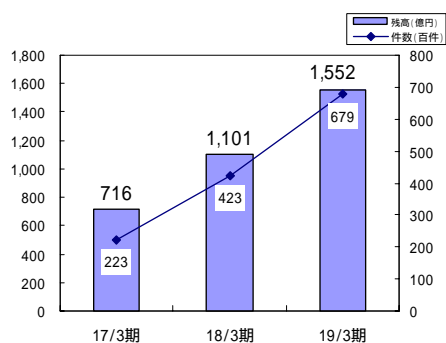
平成19年3月期の個人預金残高は前年同期比0.07%増加し1兆3,645億円となりました。また、預金全体に占める個人預金シェアは同0.1ポイント増加し68.8%となりました。

県内の個人預金残高、シェア



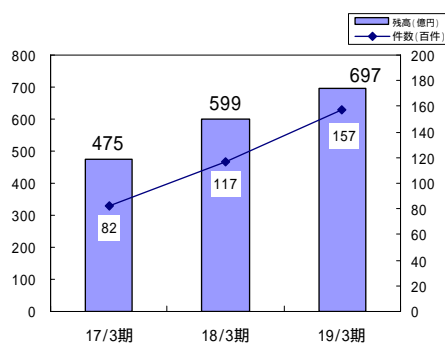
平成19年3月期の県内の個人預金残高は前年同期比0.2%増加し1兆2,996億円となりました。また、県内預金全体に占める県内の個人預金シェアは同0.1ポイント減少し69.7%となりました。

預り資産残高、件数



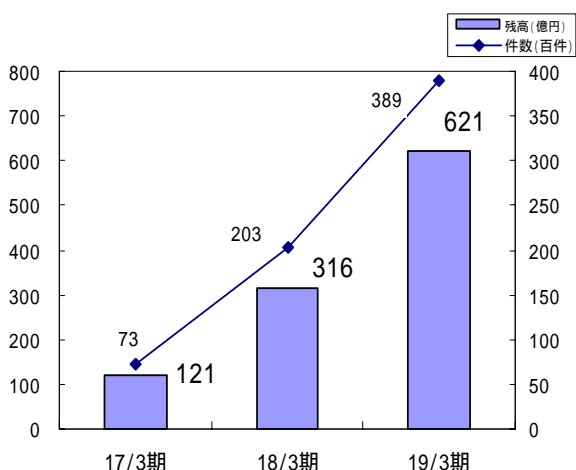
資産運用の多様化に伴い、国債や投資信託などの預り資産残高は大幅に増加しています。平成 19 年 3 月期の預り資産残高は前年同期比 40.8%増加し 1,552 億円、件数は同 60.2%増加し 679 百件となりました。

うち公共債



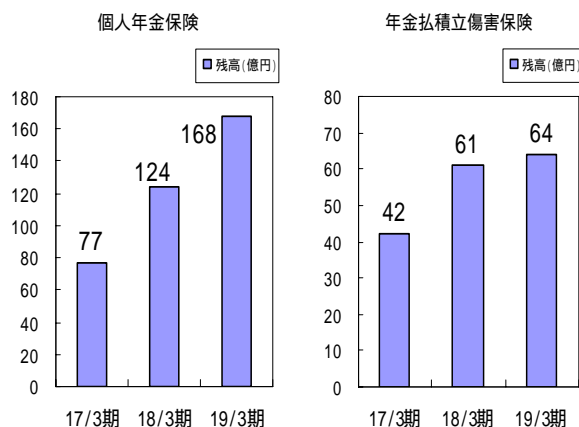
平成 19 年 3 月期の公共債は、「個人向け国債」を中心に増加しました。残高は前年同期比 16.4%増加し 697 億円、件数は同 34.1%増加し 157 百件となりました。

うち投資信託



投資信託は、元本変動商品ですが、超低金利の預金に比べ利回りが大幅に上回っていることから、定期分配型ファンドを中心に増加基調にあります。平成 19 年 3 月期の残高は前年同期比 96.4%増加し 621 億円、件数は同 91.8%増加し 389 百件となりました。

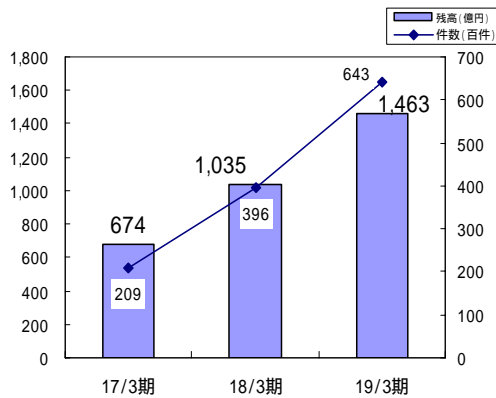
うち個人年金・年金払積立傷害保険



平成 19 年 3 月期の個人年金保険残高は前年同期比 35.2%増加し 168 億円となり、年金払積立傷害保険残高は同 4.4%増加し 64 億円となりました。

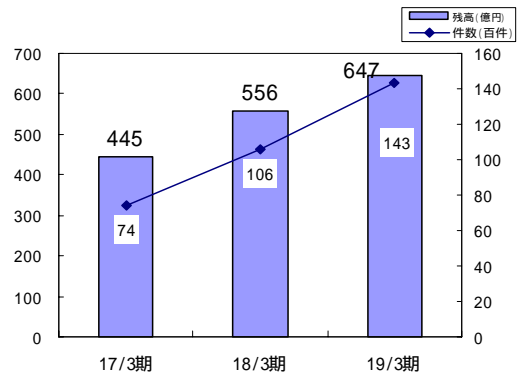
残高については、初回保険料のみ計上しています

県内の預り資産残高、件数



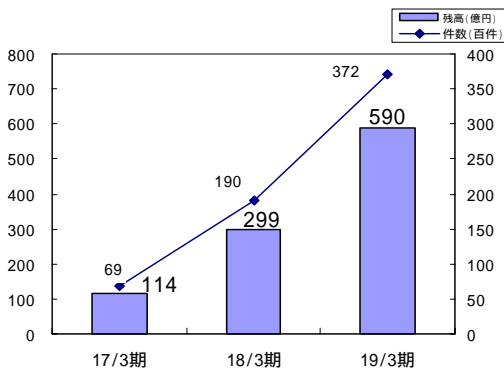
平成 19 年 3 月期の預り資産のうち県内分の残高は前年同期比 41.3%増加し 1,463 億円、件数は同 62.2%増加し 643 百件となりました。
また、県内の預り資産は、預り資産全体の 94.2%を占めています。

うち公共債



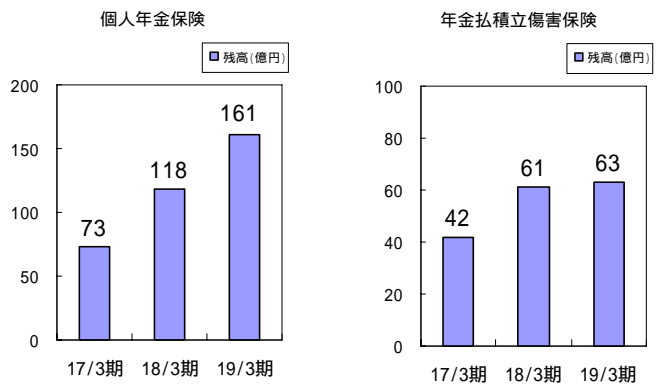
平成 19 年 3 月期の公共債のうち県内分の残高は前年同期比 16.4%増加し 647 億円、件数は同 35.6%増加し 143 百件となりました。

うち投資信託



平成 19 年 3 月期の投資信託のうち県内分の残高は前年同期比 97.2%増加し 590 億円、件数は同 95.1%増加し 372 百件となりました。

うち個人年金・年金払積立傷害保険



平成 19 年 3 月期の個人年金保険のうち県内分の残高は前年同期比 36.2%増加し 161 億円となり、年金払積立傷害保険残高は同 3.9%増加し 63 億円となりました。

残高については、初回保険料のみ計上しています。

地域顧客への利便性提供に資する取組みの状況

当行では、お客さまおひとりおひとりのご要望やライフスタイルに合わせた資産計画にお応えするため、魅力ある商品・サービスを各種ご用意しています。皆さまの毎日の暮らしや将来計画の実現をお手伝いするパートナーとしてお役に立ちたいと考えています。

預金商品 代表的な預金商品

自由金利型定期預金(M型) スーパー定期

最もお客さまに親しまれている預金商品。預入期間も1ヵ月～10年と幅広く設けています。金利は市場実勢に応じて決定されます。

あおぎん 資産運用パック「みのり計画」

「円貨定期預金」に「投資信託」「外貨預金」を組み合わせることで、円貨定期預金の金利がおトクな特別金利となる資産運用商品です。

各種金融商品

公共債

国が発行する国債をはじめとする公共債を販売しています。国債は新発債と既発債のほか、個人向け国債も取扱いしています。

投資信託

長期化する低金利時代の中、お客様の「資産づくり」のため、17種類の商品をご用意しています。

保険

- ・将来のゆとりある老後資金の準備や中長期的な運用商品として、「個人年金保険」「年金払積立傷害保険」「一時払終身保険」を各種ご用意しています。
- ・当行で住宅ローンをご利用のお客さまを対象に、さまざまな損害から住まいを守るワイド補償タイプの火災保険をご用意しています。住宅ローンと同時に契約でき、割引保険料が適用されますので便利かつ有利です。
- ・海外旅行時の不慮の事故等に備えるための傷害保険をご用意しています。インターネットでのお申込みとなります。

金

金地金を保護預かりする預かり証方式と直接受渡しする現物販売方式があります。

証券仲介業務の開始

総合的な金融サービスの提供や金融商品のワンストップショッピングなど、お客さまの利便性向上を目指し、平成17年3月から大和証券(株)および野村證券(株)と提携し、証券口座開設の取次ぎ業務を本店営業部、弘前支店、八戸支店の3店舗で行なっています。

年金相談会、投資信託セミナー等の開催

年金相談会を本店では随時、他の県内7支店では定期的に月1回開催しています。また、支店単位等で適宜お客さま向けの投資信託に関するセミナーを開催しています。

(3) その他

偽造・盗難キャッシュカード問題への対応

1 生体認証機能付「あおぎんICキャッシュカード」の取扱開始

当行では、これまでも偽造・盗難キャッシュカードによる不正払戻からお客さまのご預金をお守りする取り組みを推進してまいりましたが、平成19年3月15日より「手のひら静脈」による生体認証機能付の「あおぎんICキャッシュカード」の取扱いを開始いたしました。

ICキャッシュカードは不正な読取・偽造が困難であり、また生体認証機能はご本人以外の使用を困難とすることから、従来の磁気ストライプキャッシュカードに比べて、不正払戻に対する防止効果はきわめて高いものとなっています。

今後とも、お客さまに安心して当行のキャッシュカードをご利用いただけるように、対策の検討を進めてまいります。

ICキャッシュカードとは

ICチップを搭載したキャッシュカードのことです。ICチップは暗号化の技術等により偽造や不正な読取が困難です。なお、当行ではICキャッシュカード対応ATM以外でもご利用出来るように、従来同様の磁気ストライプも付けております。

生体認証とは

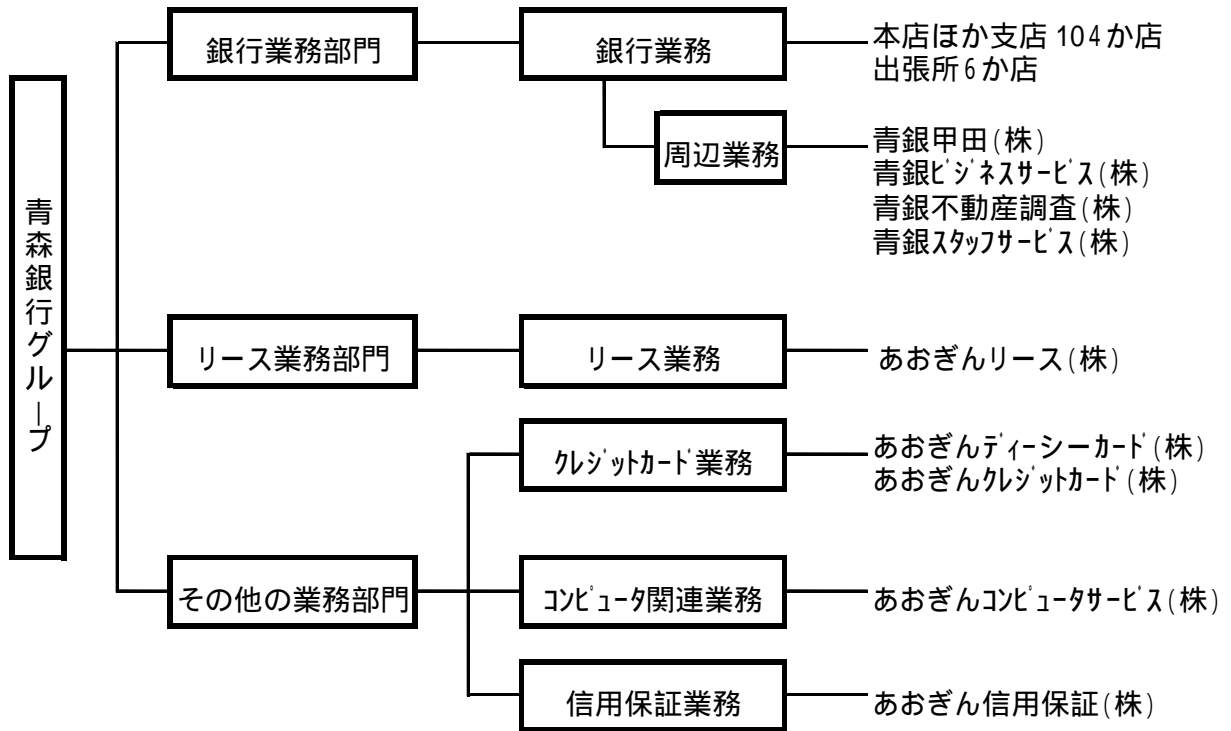
一人ひとり異なる身体上の特徴を使用して本人確認を行う認証方式のことで、当行では「手のひら静脈認証方式」を採用しております。「手のひら静脈」のパターンは、指紋等と同様に、一人として同じパターンがないため、きわめて有効性の高い本人確認方法です。

2 これまでの取り組み

平成17年4月以降実施した対策	
平成17年4月	1口座1日当りのATM利用限度額の引下げ
平成17年10月	ATMご利用場所限定サービスの実施
	ATMでの異常取引検知システムの対応開始
	ATMによるお取引限度額の任意設定
	類推されやすい暗証番号使用者への注意喚起表示
平成18年1月	被害者への補償の開始
平成18年2月	ATMご利用控の口座番号の一部を*で表示
平成18年4月	ATMご利用一時停止サービスの実施
平成18年8月	長期間ご利用の無い口座のATMご利用停止
	類推されやすい暗証番号使用者への変更誘導
	暗証番号入力ボタンの配列変更機能追加
平成19年3月	生体認証付ICキャッシュカードの発行

子会社等を通じた利便性提供の状況

青森銀行グループは、当行および子会社・連結子会社9社で構成され、銀行業務を中心に、リース業務、クレジットカード業務などの事業を行い、幅広い金融サービスを提供しています。



3. 地域経済活性化への取組み状況

(1) 地元企業に対する経営サポートの状況

地元企業の経営相談等への取組み状況

「ビジネス商談会」で地域経済の活性化を推進

当行、岩手銀行、秋田銀行では、平成18年11月22日（水）に東京都の東京流通センターで第4回ビジネス商談会を開催しました。この商談会は、北東北三行が各取引先企業のビジネス情報を共有し、ビジネスマッチングの機会創出等、法人のお客様へのサービス向上を図るため設立した、「北東北三行共同ビジネスネット by Netbix」事業の一環として行なったものです。

今回は、105企業（うち青森県からは32企業）が出展しました。当日は1,135人が来場したほか、368件の商談が行なわれました。

平成19年3月末現在の取引成約件数は84件と地域経済活性化に一役かっています。

医療介護事業コンサルタントチーム

平成18年2月に法人部内に設置し、医療・介護事業者のお客様からの相談に対し、情報提供機能の強化と経営問題解決に向けての支援強化を図るとともに、安定的かつ円滑な資金提供を行なうことを目的として活動しております。毎月、医療・介護経営に関するレポート（医療向け、介護向け）の配布を行い、3月には当行主催による第2回医療経営セミナーを開催し、28名が出席しました。

(財)青森地域社会研究所の活動

(財)青森地域社会研究所は、昭和53年7月に設立された地域型シンクタンクです。同研究所は、県内地域社会に関する経済、社会、文化、歴史等全般的分野についての調査研究や地域産業育成のための助成事業等を行っています。

また、調査研究結果を刊行物として定期的に発行するなど、地域経済社会の発展に貢献しています。

青森銀行研修所の活動

当行研修所では、平成5年の当行創立50周年を機に、県内の全事業所、従業員を対象とした研修制度をスタートさせました。人材育成研修の企画・実施、セミナーの開催、研修講師派遣等の活動を行っています。

地元企業の再生への取組み状況

「企業支援室」による経営改善指導等

当行の企業理念である「地域のために お客さまとともに 人を大切に」のとおり、地域の発展なくして当行の発展はないとの考えから、経営改善を必要とするお取引先に対しては支援専担部署として平成 15 年 4 月に設置した「企業支援室」が中心となり経営改善に向けた支援・相談に積極的に取り組んでいます。

具体的には、企業経営者との面談を実施し、問題点・課題を共有するとともに経営改善計画の策定に深く関わりながら、経営者と一体となって経営改善に取り組んでいます。さらに、公認会計士・経営コンサルタント等外部専門機関との情報交換を通じながら、適時、適切なアドバイスを行えるよう体制も整え実施しております。

なお、平成 18 年度のアクションプログラムに基づく、要注意先債務者の健全債権化等に向けた取組みでは、債務者区分のランクアップ件数目標 12 先に対して、21 先の実績となっております。

政府系金融機関と業務協力提携

当行は、日本政策投資銀行、商工組合中央金庫、中小企業金融公庫、農林漁業金融公庫の各政府系金融機関と相互の連携をより一層強化するため、業務協力に関する覚書を締結しております。

業務協力により、当行と政府系金融機関双方の業務特性を活かして、地域への円滑な資金供給を図り、地域経済の活性化に貢献してまいります。

(2) 企業の育成への取組み

企業育成への取組み状況

あおぎん地域産業育成助成金「エンジェル」により地域産業を助成しています。

あおぎん地域産業助成金「エンジェル」とは、青森県内の法人・個人の方々を対象に、地域産業の育成と企業の発展を願い、新技術・新製品及び新サービスの研究開発に必要な資金の2分の1（限度額300万円）を助成する制度です。

平成8年度より実施し、これまで14企業1個人の15先に対し助成しています。

(3) 地方公共団体の事業との関係

地方公共団体事業との関係

青森県内には、青森県を含め41の地方公共団体(平成19年3月末日現在)があり、当行ではこのうち青森県をはじめ、県内全市(10市)と21町村のあわせて32の地方公共団体から指定金融機関の指定を受け、地域の中核金融機関として、公金業務を取り扱いしています。

当行は、平成16年7月1日県内で最初の市町村合併となった五戸町を始めとして、新しく誕生した17市町村のうち14市町村より指定金融機関の指定を頂きました。

また、地域社会のよりよい環境づくりのため、地方公共団体、公社などへのご融資、地方債の引き受けを通じて学校、病院など公共施設の整備に協力するとともに、地方公共団体の収納・支払事務について、口座振替の推進および電子化等に積極的に取り組み、地域住民への利便性向上に努めております。

さらに、当行の関連シンクタンクである(財)青森地域社会研究所では、地方公共団体の各種調査、研究事業等を受託しております。

県内市町村合併状況(平成19年3月末日現在)

合併により誕生した市町村数	8市9町
(合併構成市町村数)	(6市21町17村)

当行の指定金融機関シェア(平成19年3月末日現在)

		全体	当行 (シェア)
合併前 (H16.6.30)	指定金指定先数	68(1県8市34町25村)	46(1県8市27町10村) (67.6%)
	人口(注1)	1,475,728人	1,336,957人 (90.6%)
	財政規模(注2)	648,663M	556,194M (85.7%)
合併後 (H19.3.31)	指定金指定先数	41(1県10市22町8村)	32(1県10市17町4村) (78.0%)
	人口(注3)	1,436,628人	1,345,535人 (93.7%)
	財政規模(注4)	624,410M	567,800M (90.9%)

(注1) : 国勢調査(H12.10.1現在)

(注2) : 平成14年度市町村「歳入」決算額

(注3) : 国勢調査(H17.10.1現在)

(注4) : 平成17年度市町村「歳入」決算額

4. 地域への支援活動の状況

(1) 地域への各種支援活動の状況

ボランティア活動等の状況

「あおぎん賞」の贈呈

平成5年、当行創立50周年を記念し、「青森県内の産業・地域開発および学術・文化・スポーツ等の振興に貢献した個人・団体等を表彰し、青森県の発展に資する」ことを目的に「あおぎん賞」を創設しました。昨年で14回目となり、これまでの受賞者数は、35団体7個人の42先となっています。

「小さな親切」運動による活動

当行では、「小さな親切」運動青森県本部の事務局として、毎年「春のクリーン大作戦」を実施しています。当行役職員はじめ、県内各地の住民の方々も多数参加いただいています。

地域行事への参加、ロビー展の開催

四季を通して開催されるお祭りや催し物、スポーツ大会等には人とのふれあいが溢れています。当行では、地域の皆さまとのふれあいを大切にしたいと考え積極的に参加しています。

また、本支店のロビーを地域の皆さまの文化活動や作品発表の場としてご活用いただいています。

「あおぎん講演会」の開催

当行では、地域貢献活動の一環として、また生涯学習推進のために青森県が開催している「あおもり県民カレッジ」の単位認定講座として「あおぎん講演会」を開催しております。